

# お子さんの予防接種のスケジュールをたててみましょう！ 四種混合接種バージョン！

- ★ 定期予防接種は、対象年齢や予防接種の間隔が定められています。かかりつけ医と相談し、計画的に受けましょう。
- ★ 予防接種の接種した日・予定の日を記入し、忘れないように注意しましょう。なお、予定した日に体調不良などで受けられなかった場合は、かかりつけ医に相談してください。

予防接種の種類	対象年齢	1 カ 月	2 カ 月	3 カ 月	4 カ 月	5 カ 月	6 カ 月	7 カ 月	8 カ 月	9 カ 月	10 カ 月	11 カ 月	1 歳	1 歳 2 カ 月	1 歳 4 カ 月	1 歳 6 カ 月	1 歳 9 カ 月	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	6 歳	7 歳	8 歳	9 歳	10 歳	11 歳	12 歳	13 歳	14 歳	15 歳	16 歳		
定期 接種	<b>ロタウイルス</b> (ロタリックス)	生後42日から 生後168日まで	↑①	↑②																														
	<b>ロタウイルス</b> (ロタテック)	生後42日から 生後224日まで	↑①	↑②	↑③																													
	<b>B型肝炎</b>	生後2か月から 1歳未満	↑①	↑②					↑③																									
	<b>ヒブワクチン</b> (インフルエンザb型)	生後2か月から 60か月に至るまで	↑①	↑②	↑③								↑④																					
	<b>小児用肺炎球菌</b> (プレベナー13・パクニュバンス15)	生後2か月から 60か月に至るまで	↑①	↑②	↑③								↑④																					
	<b>四種混合</b> (ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ)	生後2か月から 90か月に至るまで	↑①	↑②	↑③												↑④																	
	<b>BCG</b> (結核)	生後1歳に至るまで						↑①																										
	<b>MR</b> (麻しん風しん混合)	①1歳以上2歳未満 ②小学校就学前年度											↑①																					
	<b>水痘ワクチン</b> (水ぼうそう)	生後1歳から											↑①				↑②																	
	<b>日本脳炎</b>	①～③生後6～90カ月 ④9歳～13歳未満																																
	<b>二種混合</b> (ジフテリア・破傷風)	11～13歳未満																																
<b>ヒトパピローマウイルス感染症予防</b> (子宮頸ガン予防)	小学6年から 高校1年相当の女子																																	
<b>ムンプスワクチン</b> (おたふくかぜ)	生後1歳から																																	

ロタリックス・ロタテック どちらか一つを選択して接種することになります。  
選択したワクチンにより、接種回数・接種期間が異なります。

この接種例は、生後2か月以上7か月に至るまでの間に接種を開始した場合のもので、開始した月齢により、回数が変わります。

年長時に三種混合＋不活化ポリオ予防接種を任意接種(自費)すると、より効果的です

小学校就学前年度(幼稚園、保育園の年長に相当)の期間内に接種

対象は、小学6年生から高校1年生相当の女子

小学校就学前年度(幼稚園、保育園の年長に相当)に2回目の接種がお勧めです

※ 上記は、当院でお勧めする標準的なスケジュールの例を示しています。接種の際は、かかりつけ医と相談しながら接種をすすめてください。  
 ※ [ピンク塗り]: 定期予防接種の対象年齢 [点線塗り]: 任意予防接種の対象年齢 ↑: 予防接種を受けるお勧めの時期 丸付き数字(①、②など)は、接種回数です  
 ※ 乳児では筋肉量が少ない事から、当院では上腕三角筋部位ではなく上腕伸側下部位・大腿外側部位での接種をお勧めしています。

# 予防接種チェック表

四種混合接種バージョン

氏名 \_\_\_\_\_

生年月日 平成・令和 年 月 日

	ワクチン	種類	標準的接種年齢と接種間隔	第1回	第2回	第3回	第4回
定期 予防 接種	ロタウイルス ( ロタリックス )	生	生後42日から生後168日まで ①-②の間は4週以上あけて計2回	<input type="checkbox"/> ( 年 月 日 )	<input type="checkbox"/> ( 年 月 日 )		
	ロタウイルス ( ロタテック )	生	生後42日から生後224日まで ①-②-③の間は4週以上あけて計3回	<input type="checkbox"/> ( 年 月 日 )	<input type="checkbox"/> ( 年 月 日 )	<input type="checkbox"/> ( 年 月 日 )	
	B型肝炎	不活化	生後2ヵ月から 1歳未満 ①-②の間は4週以上 ②-③の間は4-6ヵ月程度	<input type="checkbox"/> ( 年 月 日 )	<input type="checkbox"/> ( 年 月 日 )	<input type="checkbox"/> ( 年 月 日 )	
	インフルエンザ菌b型 <sup>注1</sup> (ヒブワクチン)	不活化	生後2ヵ月から ①-②-③の間はそれぞれ4週以上 ③-④の間は7ヵ月以上(標準は1年)	<input type="checkbox"/> ( 年 月 日 )	<input type="checkbox"/> ( 年 月 日 )	<input type="checkbox"/> ( 年 月 日 )	<input type="checkbox"/> ( 年 月 日 )
	小児用肺炎球菌 <sup>注1</sup> (プレバナー13・バクニューバンス15)	不活化	生後2ヵ月から ①-②-③の間はそれぞれ4週以上 ③-④の間は60日以上かつ1歳越えて	<input type="checkbox"/> ( 年 月 日 )	<input type="checkbox"/> ( 年 月 日 )	<input type="checkbox"/> ( 年 月 日 )	<input type="checkbox"/> ( 年 月 日 )
	4種混合 (ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ)	不活化	生後2ヵ月から ①-②-③の間はそれぞれ3週以上 ③-④の間は6ヵ月以上(標準は1年)	<input type="checkbox"/> ( 年 月 日 )	<input type="checkbox"/> ( 年 月 日 )	<input type="checkbox"/> ( 年 月 日 )	<input type="checkbox"/> ( 年 月 日 )
	BCG (結核)	生	～12ヵ月未満 標準的には5-8ヵ月に接種	<input type="checkbox"/> ( 年 月 日 )			
	MR (麻疹・風疹)	生	①1歳以上2歳未満 ②小学校就学前年度(年長児)	<input type="checkbox"/> ( 年 月 日 )	<input type="checkbox"/> ( 年 月 日 )		
	水痘ワクチン (水ぼうそう)	生	1歳以上3歳未満 ①-②の間は3ヵ月以上(標準6～12ヵ月)	<input type="checkbox"/> ( 年 月 日 )	<input type="checkbox"/> ( 年 月 日 )		
	日本脳炎 <sup>注2</sup>	不活化	生後6ヵ月(標準は3歳)から ①-②の間は1週以上 ②-③の間は6ヵ月以上(標準およそ1年) ④9歳以上13歳未満	<input type="checkbox"/> ( 年 月 日 )	<input type="checkbox"/> ( 年 月 日 )	<input type="checkbox"/> ( 年 月 日 )	<input type="checkbox"/> ( 年 月 日 )
	二種混合 (ジフテリア・破傷風)	不活化	①11歳以上13歳未満	<input type="checkbox"/> ( 年 月 日 )			
	ヒトパピローマウイルス感染症予防 (子宮頸がん予防)	不活化	小学6年生から高校1年生	<input type="checkbox"/> ( 年 月 日 )	<input type="checkbox"/> ( 年 月 日 )	<input type="checkbox"/> ( 年 月 日 )	
ムンプスワクチン <sup>注3</sup> (おたふくかぜ)	生	①1歳以上 ②は年長児での接種を推奨	<input type="checkbox"/> ( 年 月 日 )	<input type="checkbox"/> ( 年 月 日 )			

注1 : 生後7ヵ月以降に接種を開始した場合は接種回数が異なります。詳細は、かかりつけ医に相談してください。

注2 : 日本脳炎の特例 (平成7年4月2日から平成19年4月1日に生まれた20歳未満の方は、7歳6ヵ月～9歳未満、13歳以上でも接種可能となっています)

注3 : MRワクチンと同様に1歳過ぎに1回目を接種します。その後2回目を接種することにより、さらに良好な予防効果を得られると考えられています。